

## 成果指標

北九州市・新ビジョンにおいては、都市の総合力を測る19の成果指標を定め、高い目標値（ストレッチゴール）を掲げました。この高い目標の達成に向け、市全体が一丸となって挑戦してまいります。

指標名	現状値	目標値※1 2028年(度)	目標値の 考え方	重点戦略※2		
				稼げるまち	彩りあるまち	安心・安全なまち
市内総生産額 (名目)	3兆6,696億円 (2020年度)	<b>4兆円</b> (2033年度)	過去10年間(2010～2020年度)の年平均成長率の2倍以上を目指す	●	●	
従業者一人当たりの付加価値額	818万円 (2020年度)	<b>900万円</b> (2033年度)	市内総生産額と同程度の増加率を目指す	●	●	
市民雇用人一人当たりの市民雇用人報酬	463万円 (2020年度)	<b>500万円</b> (2033年度)	市内総生産額と同程度の増加率を目指す	●	●	
女性の就業率 (25～44歳)	79.8% (2022年)	<b>82.0%</b>	国が掲げる目標値の達成を目指す	●		●
観光消費額	827.3億円 (2022年)	<b>1,800億円</b>	令和元年(新型コロナウイルス感染症流行前)の水率(1,345億円)以上を目指す	●	●	
宿泊客数	172.7万人 (2022年)	<b>260万人</b>	令和元年(新型コロナウイルス感染症流行前)の水率(192.9万人)以上を目指す	●	●	
商業地価(小倉) ※主要地点の平均地価	580,000円/㎡ (2023年)	<b>871,000円/㎡</b> (2033年)	他の政令市の状況等を踏まえ、現状値の1.5倍を目指す	●	●	
商業地価(黒崎) ※主要地点の平均地価	148,000円/㎡ (2023年)	<b>227,000円/㎡</b> (2033年)	他の政令市の状況等を踏まえ、現状値の1.5倍を目指す	●	●	
将来の夢や目標を持っている子どもの割合	小学生 81.1% 中学生 66.8% (2023年度)	小学生 <b>85.0%</b> 中学生 <b>70.0%</b>	政令市1位の水準を目指す		●	
合計特殊出生率	1.46 (2022年)	<b>1.8を見据え</b> 政令市 <b>1位</b>	国の指標である「未婚者の平均希望子ども数」の1.8の達成に向けて政令市1位を目指す			●

指標名	現状値	目標値※1 2028年(度)	目標値の 考え方	重点戦略※2		
				稼げるまち	彩りあるまち	安心・安全なまち
健康寿命	男性 71.9年 女性 75.6年 (2019年)	男性 <b>76.0年</b> 女性 <b>77.0年</b>	政令市1位の水準を目指す			●
社会課題を意識し、日常生活の中で解決に向けた行動に取り組む市民の割合	40.4% (2022年度)	<b>60%</b>	—	●	●	●
地域活動に参加したことがある市民の割合	50.9% (2023年度)	<b>60%</b>	—			●
安全なまちと認識している市民の割合	86.0% (2022年度)	<b>90%</b>	—			●
北九州市に住み続けたいと思う市民の割合	83.8% (2022年度)	<b>90%</b>	—	●	●	●
北九州市への誇りや自信があると答えた市民の割合	55.0% (2022年度)	<b>80%</b>	—	●	●	●
北九州市での生活全般に満足している市民の割合	77.1% (2022年度)	<b>85%</b>	—	●	●	●
社会動態	▲206人 (2023年)	<b>+1,000人</b>	特に20、30代の社会動態の改善により、社会動態のプラス幅の拡大を目指す	●	●	●
推計人口	916,241人 (2023年10月1日)	<b>将来推計人口を上回る人口</b>	実際の人口が5年ごとに推計された将来人口を上回ることにより、人口の減少傾向の改善を目指す	●	●	●

※1 各指標の目標年次は2028年(度)。ただし、目標値に括弧書きのある指標は、当該括弧に記載の年(度)。

※2 各指標に特に関連する重点戦略に○を記載。